

索引

欧文

1 群の割合をある数値と比べる	38
2 群の割合を比べる	37
2 重盲検	28
2 値の変数	110
3 重盲検	29
3 値以上	111
10 分割交差検証	126
Clinical Trials の定義	65
Complete データ解析	158
cRCT	31
Effect Modification	132
Modify できるもの	58, 132
pRCT	31
PROBE 法	30
P 値	34, 53, 130, 152, 163, 168
Validation	125

和文

あ行

アカデミー賞	163
医学的に正当な理由	40
逸脱	110
インターアクション	132
ウォッシュアウト期間	50

後ろ向き研究	67
疫学的にはよくない研究	167
エビデンス	13, 57, 71, 91
エラーには 2 種類ある	14
オーバーアジャストメント	123
オプトアウト	18, 68
オプトイン	18, 68

か行

帰帰木	133
帰帰モデル	107, 112, 125
帰帰モデルの選択	109
解析の限界	43, 142
外的妥当性	32
介入	50, 63, 65
介入研究	59, 65, 76, 80, 86, 88
科学性	13, 32, 57, 76, 79, 91, 101, 136
偏り	14
Kaplan-Meier 法	98, 113, 163
環境	22
観察研究	59, 65, 72, 74, 76, 80, 86, 88, 96, 101, 116, 138

患者背景	27, 95, 98, 103, 119, 141
完璧な研究よりも	71
既知の値	38
休業期間	50
共線性の問題	123
組入れ除外基準	19, 23, 47, 94

組み込み	121, 122
組み込める数	121
クラスターランダム化試験	31
クロスオーバー試験	50
クロスバリデーション	126, 134
計画する際に考える	83
傾向スコア	115
軽微な侵襲	61, 81
欠損値補完	157
欠損データのハンドリングのためのガイドライン	159
研究外対照	23
研究外非同時対照	26
研究内対照	23
研究内非同時対照	25
研究の設定	27, 67
研究例	19, 24, 29, 37, 38, 46, 48, 98, 104, 118, 141, 145, 149, 151, 157
効果修飾	132
交差検証	126
交絡	101, 103, 104, 107, 147
コラム	21, 32, 43, 53, 94, 115, 136

さ行

サブグループ解析 (サブ解析)	104
サンプリングバイアス	158
時間依存性生存解析	21, 164
自然治癒力	16
時点マッチ法	21
主観	17, 22, 23, 31

主観的なアウトカム	22
順序変数	111
少数因子	140
症例数計算	34, 36
侵襲	61, 65, 81
制限的3次スプライン	153
全員介入の試験	13
前後比較	25, 44, 47, 49
センサリング	110
操作変数法	136
層別無作為化	27

た行

タイミング	22, 24, 67
多重性の問題	133
多重補完	160
正しい比較群	15, 22, 41
正しい引き算	13, 15, 25, 33, 94
多変量回帰モデル	108
多変量解析	107, 112
単一補完	159
単群試験	10, 13, 36, 40, 43, 76
単盲検	28
置換ブロック法	27
致命的な欠陥	14, 31, 69
中間因子	101, 144, 147
長期トレンド	51
治療者	20, 28
次の一歩	150, 156, 161, 165, 169
適用	80
データ収集	22, 24, 67

同意の取り方	19
統計的な有意差	25, 35, 41, 53, 130, 132, 142
統計的によい	46, 167
同時対照	24
投薬コホート研究	49
特定臨床研究	79, 85

な行

内的妥当性	32
内部検証	125
日常診療の範囲	60
ネットワークメタ解析	94

は行

バイアス	14, 120, 24, 32, 94, 115, 132, 143, 158, 162
背景調整	30, 98, 107, 115, 136
パイロット試験	41
暴露	21
暴露因子	101, 123, 144
比較群	23
引き算	13, 15, 25, 33, 94
被験者	16, 17
ヒストリカル対照	26, 36, 40, 43
非線形解析	151, 153
必要な手続き	85
非同時対照	24
評価者	22, 29
フォレストプロット	131
不死身バイアス	20, 162

ブートストラップ法	127, 134
プラグマティック試験	34
プラセボ効果	17
不利益	13, 79, 86
分類	59, 70, 86, 88
ベースライン対照	25, 46
ベッドサイド	168

ま行

前向き研究	67
無作為化	14, 21, 27, 30, 32, 69, 91, 98, 101, 115, 136
無作為化比較試験	31, 76, 86, 88, 91, 94, 136, 165
メタ解析	94
盲検化	14, 28, 30,
モニター効果	17

ら行

ランダムなエラー	14
ランダムに割り付ける	27, 50
ランドマーク法	21
利益	13, 76
リスク因子	100
リポートデータ解析	166
臨床研究の作法	54
臨床研究法	79, 80, 84
論文化	33, 70
割り付け	27, 65, 166